

# 平成23年度事業計画

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

## 1. 騒音及び振動に関する学術・技術の発展と普及・啓発を図り、もって国民の生活環境の保全と質の向上に寄与する事業(公益目的事業)

### (1) 調査・研究を行う事業

ア) 研究部会、分科会を開催し、その活動を通じて調査研究を進めるとともに、得られた成果を報告会等を通して会員等に周知する。また、関連学会・研究会と情報交換を行い、またホームページの充実と整備等によって会員活動の拡大ならびに学術・技術の発展と普及・啓発を図る。

イ) 騒音・振動関係の日本工業規格(JIS)の見直し・原案作成および国際規格(ISO、IEC)の審議に協力する。

ウ) 受託調査研究業務については、騒音・振動制御に関係する当学会として相応しい業務を受託し、騒音・振動技術の発展に努める。

### (2) 研究発表会や講習会等を行う事業

ア) 平成23(2011)年春季研究発表会の開催

平成23年4月27日(水)に東工大蔵前会館において春季研究発表会を開催し、講演論文集を刊行する。

《セッション》

①地盤を伝わる振動の調査・測定、評価、予測(道路交通振動予測式作成分科会)

②騒音の社会調査データアーカイブの設立と利用(社会調査データアーカイブ分科会)

③ノイズポリシー(環境騒音振動行政分科会)

④集合住宅の床衝撃音(床衝撃音分科会)

イ) 平成23(2011)年秋季研究発表会の開催

平成23年9月15～16日に芝浦工業大学において秋季研究発表会を開催し、講演論文集を刊行する。

ウ) 技術講習会等の開催

技術講習会を年4回程度開催し、騒音・振動の計測技術ならびに対策技術の普及・向上に努め、展示会や講演会、見学会等を通じて騒音・振動に関する最新技術の普及に貢献する。

### (3) 会誌や学術書等の刊行を行う事業

ア) 「騒音制御」35巻2号～36巻1号の6冊を隔月に発行し、会員に配布する。その中で、会員のニーズに応じた特集記事を企画し誌面の充実を図るとともに、学会ホームページにカラー図表を掲載する等のサービスも積極的に行う。また、記事投稿の促進と執筆者への便宜、編集の効率化ならびに騒音・

振動制御に係る広告等の拡充について検討するとともに、「騒音制御」の電子ファイル化の準備を行う。

イ) 騒音・振動に係る解説書等の出版に向けて編集作業を継続して進めるとともに、学会としての出版活動の一層の充実を図る。

(4) 国内外の学協会等と交流する事業

ア) INTER-NOISE 2011を2011年9月4～7日に大阪で開催する。

イ) I-INCE加盟団体としてその活動に協力するとともに、ICA、WESPAC、INCE/USA等と情報交換を行う。

ウ) 騒音・振動に係る話題提供の一環として海外の著名な研究者を招き、交通騒音や風車騒音に係る政策に関する国際的な取り組みについて特別講演会を開催する。また国内外の学協会等と交流することで、本学会の認知度を高めかつ会勢拡大を図り、もって当該分野の将来の裾野を広げる。

(5) 業績表彰に関する事業

学会の選奨制度を効果的に運用し、会員による騒音・振動技術の推進と普及を促し、社会への貢献を図るために、守田栄論文賞、研究功績賞、環境デザイン賞、研究奨励賞の贈呈を行う。

2. 騒音及び振動に関する認定技士の資格認定を行う事業(その他の事業(相互扶助等事業))

資格制度に基づき、公益社団法人日本騒音制御工学会認定技士の資格認定を行うとともに、活動の強化を図る。